

活動名称

郷土の歴史・民俗調査研究活動

前川 由一 さん

地域の結束の場としての重要な役割を果たす「祭」。そして、自らが生きてきた「七栗村」。それらの歴史の移り変わりを総合的に調査し、習俗、地理などの記録を研究史として残すことで、地域の文化・歴史の伝承に貢献されました。

『庄田の祭り』（平成 28 年 3 月発行）



賑わう「弁天さん」会場



「天王さん」に持参した提灯を吊るす子どもたち



雨の中「愛宕さん」の様子



『七栗村誕生の話』（令和元年 5 月発行）



近世中期の七栗郷周辺地図『三重県史資料編近世2（平成15年編集発行三重県）』付録を一部修正近世中期所領図北部七栗郷周辺の地図。写真中茶色は久居藩、薄茶色は津藩、水色は和歌山（紀州）藩、茶色と水色の縦じまは久居藩と和歌山藩両藩の所領



三重県行政文書「新町村名選定の事由」『明治廿二年 一志郡町村分合下調査類』：三重県総合博物館所蔵

「新町村名選定の事由」には、「此五ヶ村及隣邑村辦原村等ヲ合セ古へ七栗郷ト云フ故子其名ヲ承リ七栗村トス」と記録されています。



～前川さんのひと言～

郷土について調べていると新しい発見があったり、今まで不確かだった自分の知識を見直せたりします。そこに調査・研究のおもしろさがあります。ご指導いただいた先生のお勧めもあり、出版することができました。